

令和3年12月24日
港湾局産業港湾課

カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けた施策の方向性と CNP 形成計画策定マニュアルをまとめました ～CNP 形成に向けた取組が本格的にスタート！～

国土交通省では、国際サプライチェーンの拠点かつ産業拠点である港湾において、水素・燃料アンモニア等の輸入等を可能とする受入環境の整備や、事業者間連携による水素需要創出・供給拡大等によりカーボンニュートラルポート（CNP）を形成し、我が国の脱炭素社会の実現に貢献することとしています。

今般、本年6月より開催している検討会の結果を踏まえ「CNPの形成に向けた施策の方向性」と「CNP形成計画策定マニュアル（初版）」を公表します。

1. 概要

- 国土交通省では、本年6月より、「カーボンニュートラルポート(CNP)の形成に向けた検討会」を開催し、CNPの形成に向けた取組の加速化を図る各種方策について、検討を行ってきました。
- この度、本検討会において、「CNPの形成に向けた**施策の方向性**」をとりまとめるとともに、国土交通省において、港湾管理者によるCNPの形成に向けた計画の策定を支援する「CNP形成計画策定**マニュアル**（初版）」を作成しました。
- 今後、関係省庁や港湾管理者等と連携して、本検討会でとりまとめた**施策の方向性**に沿った取組を進めるとともに、港湾管理者によるCNP形成計画の策定を促進してまいります。

2. 「施策の方向性」及び「マニュアル」のポイント

【施策の方向性】

- CNPの目指す姿は「水素等サプライチェーンの拠点としての受入環境整備」と「港湾地域の面的・効率的な脱炭素化」であり、取組の方向性を「CNP形成の対象範囲」「港湾地域における官民一体となった取組」「水素等の大量・安定・安価な輸入・貯蔵等」等の視点で整理。

【マニュアル】

- CNP形成計画は、各港湾において発生している温室効果ガスの現状及び削減目標、その実現のために講じる取組、水素・燃料アンモニア等の供給目標及び供給計画等を取りまとめたもの。策定主体は、港湾管理者。策定に当たり、関係事業者等が参画する協議会の設置が望ましい。
- 本マニュアルは、CNP形成計画の記載項目（CNP形成計画における基本的な事項、温室効果ガス排出量の推計・削減目標・計画、水素・燃料アンモニア等供給目標・計画、対策の実施・進捗管理・公表等）を示すとともに、港湾管理者がCNP形成計画を作成・進捗管理していくプロセス等をまとめたもの。

添付資料

- ・資料1 「施策の方向性」及び「マニュアル」の概要
 - ・資料2 CNPの形成に向けた取組（参考資料）
- ※施策の方向性とマニュアル初版については、以下のURLに掲載します。

URL : https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr4_000050.html

【問い合わせ先】 港湾局 産業港湾課 伊藤、的野、橋本、一瀬
(代表) 03-5253-8111 [内線] 46-467、46-468、46-451 (直通) 03-5253-8679 (FAX) 03-5253-1651